

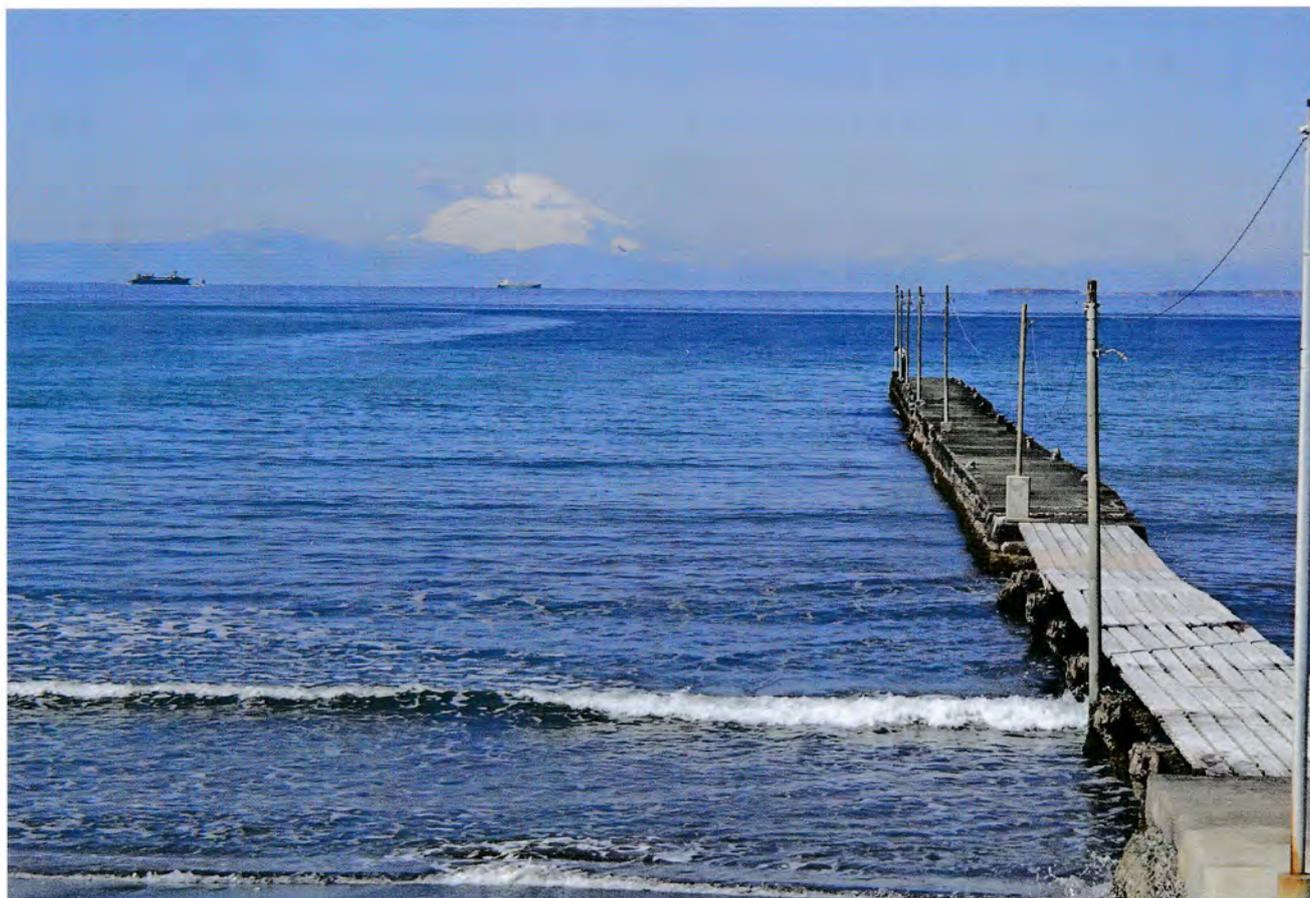


消防千葉

2023 No.599 令和5年10・11月号

目次

巻頭言（香取広域市町村圏事務組合消防長）	2
第44回九都県市合同防災訓練	3・4
第25回全国女性消防操法大会激励会	5
令和5年度女性防火研修会	6
第175期消防職員初任科卒業式	7・8
第176期消防職員初任科入校式	9
第42回全国消防殉職者慰霊祭	10
わが町の消防団（匝瑳市消防団）	11
東西南北	12・13
日々の動き	14



原岡棧橋（岡本棧橋）（南房総市）安房支部

巻 頭 言

「歴史ある街を守る」

香取広域市町村圏事務組合消防長 猿田 繁



香取広域市町村圏事務組合消防本部は、平成18年3月27日の市町村合併に伴い、旧佐原市外五町消防組合ならびに旧小見川町外2町消防組合の2消防本部が香取広域市町村圏事務組合に統合再編され17年を経過したところです。

本圏域は千葉県の北東部に位置し、香取市、多古町、東庄町の1市2町で構成され、人口98,086人、面積381平方キロメートルで、消防吏員213名、1本部、1署、3分署、2分遣所1出張所体制で地域防災に当たっています。地域の特徴として、香取市、東庄町にあっては圏域の北部を日本最大の流域面積をもつ利根川が東西に流れ、水郷筑波国定公園の区域に属しており肥沃な北総台地で占められていることから、田畑に適し、水の郷として農業が基幹産業となっています。多古町にあっては、町中央部を栗山川が南北に流れ、低地には水田地帯が広がり多古米の産地となっています。

消防本部のある香取市佐原地区の中心を流れる小野川沿いは、江戸時代から利根川の水運を利用して商業が栄えた場所で、現在でも古い商家が立ち並び、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、古民家をリノベーションして様々な店舗が出店し観光名所の一つとなっています。また、毎年夏と秋にはユネスコ無形文化遺産に登録された勇壮な山車を引き廻す、佐原の大祭・山車行事が佐原囃子の音色に奏でられながら開催され、荘厳な祭り（山車行事）を見るため多くの方が訪れます。古来からの伝承を引継ぎ、地域に根ざす伝統文化の魅力を国内外へ発信する機会として地域振興につながるものと期待しています。

さて、当消防本部管内において、隣接する成田国際空港の滑走路延長や圏央道開通で新たな災害対応の準備も求められる中、更新に合わせて機能を強化した車両の導入を予定しています。また、職員に対しては、各種研修への参加、消防技術の錬磨、メンタルヘルス対策、ハラスメント防止対策に重点を置き、従来の知識と技術を伝承しながら、新たな取り組みも導入しています。

近年は地球規模での温暖化の影響により自然災害が多発し、河川が氾濫するなど、水害に対する備えは急務となっています。来年度は香取市で11年ぶりに「利根川水系連合・総合水防演習」が開催されることから、消防職・団員共に研修を重ね、水防の技術を伝承するとともに、地域住民への普及、啓発を図り、郷土愛の精神で邁進する所存であります。

結びに、香取広域市町村圏事務組合消防本部管内においては、人口減少等課題はありますが、住民が安全・安心に暮らせる歴史ある街を目指して消防行政に取り組んでまいります。

第44回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)

大規模な地震災害を想定し、行政や各防災機関が連携した救出救助や、避難所運営などの実践的な訓練のほか、減災への備えや発災時の対応に関する啓発・体験の機会を設けることで、自助・共助・公助の繋がりを強化し、地域の防災力を向上させることを目的とするものです。

実動訓練終了後、熊谷千葉県知事から訓練講評が行われその後、主催者（星野我孫子市長、石橋千葉県消防協会長）挨拶に続き、来賓を代表して伊藤千葉県議会議長、甲斐我孫子市議会議長の挨拶がなされました。



訓練概要

1 実施日時・会場

令和5年9月2日（土） 10:00～13:00

(1) 川村学園女子大学

- ・防災フェスタ
- ・避難所運営訓練・応急給水等訓練
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練
- ・物資輸送訓練

(2) 川村学園女子大学グラウンド

- ・ライフライン等応急復旧訓練
- ・救出救助実動訓練
- ・応急救護訓練
- ・シェイクアウト訓練



熊谷千葉県知事



星野我孫子市長



石橋消防協会長



伊藤千葉県議会議長

2 主 催

千葉県、我孫子市、公益財団法人千葉県消防協会

3 訓練規模

参加機関（団体） 約100機関、参加人数 約5,000名

4 想定地震

我孫子市直下を震源とする大きな地震が発生し、同市内で震度6強を記録し、この地震により、多数の建物が倒壊しているほか、道路損壊など交通障害が発生している。

また、多数の家屋損壊や電気・水道・ガス等ライフライン機能が麻痺している中、市民は市内指定避難所へ避難行動を実施した。

5 今回の訓練の特徴

- (1) 自助・共助に主眼を置き、防災意識を高めるための普及啓発を強化し実施する。
- (2) 防災関係機関、行政機関の連携を強化する訓練を実施する。
- (3) 地域特性を考慮し、水難救助に係る訓練を実施する。
- (4) 過去の災害の課題に対応した訓練を実施する。

6 訓練の状況



防災フェスタ



防災フェスタ



救出救助実動訓練



信号機応急復旧



中高層建物からの救出救助



埋没車両からの救出救助



災害救助犬による搜索



火災防御訓練



応急救護訓練



避難所運営訓練

第25回全国女性消防操法大会 千葉県代表(館山市女性消防隊)激励会

令和5年9月12日(火)、千葉県知事公舎で、県主催による第25回全国女性消防操法大会千葉県代表の激励会が開催されました。

この大会は、女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的として、令和5年10月21日(土)東京都の東京臨海広域防災公園で開催されます。

新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となる「第25回全国女性消防操法大会」に出場する「館山市女性消防隊」に、その活躍を祈念し激励を行うとともに、穴澤千葉県副知事から吉野館山市消防団長へ「必勝」ののぼり旗が交付され、出場選手を代表して指揮者の井田友海さんから、大会に向けて強い意気込みと謝辞が述べられました。



令和5年度「女性防火研修会」を開催して

千葉県女性防火クラブ連絡協議会 会長 竹内 久子

線状降水帯が全国に発生して集中豪雨の被害に遭われました皆様にお見舞い申し上げます。

コロナ5類に移行されました。感染者が以前ほどではないですが安心出来る状態ではありません。

令和5年度「女性防火研修会」を9月6日千葉県消防学校講堂で開催致しました。

昭和61年結成以来37回目となります。昭和・平成・令和と続ける事が出来ましたのも、クラブ員を始め消防防災関係者皆様の御指導のお陰と改めて感謝申し上げます。

始めに主催者挨拶、千葉県消防協会兼千葉県少年女性防火委員会の石橋 毅会長と千葉県女性防火クラブ連絡協議会の竹内久子会長からご挨拶申し上げ、次に(一財)日本防火・防災協会の秋本敏文会長からの祝電が披露されました。

引き続き「住宅防火対策」について、竹内久子会長の講話を致しました。

総務省消防庁発表 令和4年度版消防白書を元に説明

①総 出 火 件 数 35,222件・およそ1日あたり96件、15分ごとに1件の火災が発生

②住宅火災件数 10,243件(放火を除く)

③総 死 者 数 1,417人、住宅火災死者数 966人

④死者の年齢 65歳以上高齢者、74.2%

出火原因 ①「たばこ」による火災の6割以上は不適當な場所への放置 ②「放火」及び「放火の疑い」の合計は減少 ③「こんろ」による火災で最も多いのは消し忘れによる。損害額 1,042億円

火災による死者 ①逃げ遅れ 46%、526人 ②不明・調査中 42.5%、486人 ③着衣着火し火傷、ガス中毒死亡 7.7%、88人 ④一旦屋外へ避難後再進入 1.1%、13人

住宅防火対策への取り組み

住宅用火災警報器設置が義務化してから10年経過、交換の時期適切な維持管理をお願い。

全国設置率84.0% 条例設置率67.4%、千葉県設置率78% 条例設置率59% 全国39位 最後に住宅防火いのちを守る「10」のポイントを説明しました。

次に我孫子市女性防火クラブから令和5年度活動内容発表

- 1、我孫子市の概要
- 2、我孫子市女性防火クラブの歴史
- 3、現在の活動について
- 4、おわりに

クラブ員も高齢化に、いかに若い方達に加入して頂くか産業まつりなどでPRしています。

これからも、「自分たちの家は自分たちの手で守る」と言う自主防災の趣旨のもと「明るく」「楽しく」「元気に」をモットーに活動をしていきたいと思います。

午後からは、講師に落語家の三遊亭 楽大師匠に演題「被災地で見聞きしたその時と今、そして未来」このテーマからしても、私達には前例のない内容だけに、大きな期待感を持って望みました。

大衆芸能の一種で、とてもこっけいな話で、客を笑わせ、その終わりに(おち)のあると言われるように実に面白く、それでいて、しっかりと「さわり」の部分、要点を投げかけている。楽大師匠の言わんとする筋の大きさ、大切さを、私達は、しっかりと学びとることが出来ました。被災地で落語で元気を付けてもらいたいとある新聞社の要請で入りましたがほとんどが高齢者でした。

現地へ行って報道とは違い色々なことを見聞できました。これからも「さんりく大船渡るさと大使」として東北へ落語を届けます。あっという間の60分でした。

終わりに開催に当たりご協力頂きました(公財)千葉県消防協会、千葉県消防学校、(一財)日本防火・防災協会及びご参加頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

天候にも恵まれまして盛会裏に終了出来ました事に御礼申し上げます。



竹内久子会長



石橋 毅会長



三遊亭楽大師匠

第175期 消防職員初任科卒業式

千葉県消防学校

令和5年9月14日(木)、千葉県消防学校大講堂において消防職員初任科第175期の卒業式が行われました。

4月7日の入校から6か月、29所属141名の若々しい消防職員が厳しい研修を終了し、消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り、第一線で活躍することになります。

当日は、各消防(局)本部消防長が見守る中厳粛に執り行われ、国歌静聴の後、卒業生の氏名が点呼され、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け、優秀賞6名、努力賞6名の表彰と卒業生全員に記念品が贈呈されました。

その後、大石千葉県消防学校長の告辞、千葉県知事(代理 添谷防災危機管理部長)、千葉県消防協会長(代理 芝岸副会長)、千葉県消防長会長(代理 市川副会長)の祝辞に続き、卒業生を代表して習志野市消防本部の井上直輝君から答辞が述べられ、最後に校歌が演奏され終了しました。



卒業生答辞(習志野市消防本部 井上直輝君)



大石学校長告辞



千葉県知事(代理 添谷防災危機管理部長) 祝辞



消防協会長(代理 芝岸副会長) 祝辞



消防長会長(代理 市川副会長) 祝辞

また、9月13日（水）には、消防学校屋外訓練場において教育訓練の成果を披露する「実科査閲」が、消防関係者、御家族や一般の方々など多くの皆さんが見詰めるなかで行われました。学生集合、通常点検、小隊訓練、機器取扱訓練、救急訓練、救助訓練、体力向上体操、そして最後に初任科で習得した消防活動の集大成として、全員による総合活動訓練では火災防ぎょ活動の部隊行動を基本として、救出訓練と一斉放水訓練が行われ大きな拍手が送られていました。



学生集合



通常点検



小隊訓練



機器取扱訓練



救急訓練



救助訓練



体力向上体操



総合活動訓練



総合活動訓練



一斉放水訓練

第176期 消防職員初任科入校式 千葉県消防学校

令和5年9月29日（金）、千葉県消防学校大講堂において、消防職員初任科第176期の入校式が行われ、29所属138名の若々しい学生が入校しこれから6か月間の厳しい研修が始まります。

当日は、各消防（局）本部消防長が見守る中厳粛に執り行われ、一同敬礼の後、開式のことば、国歌斉唱、入校生氏名点呼に続いて大石千葉県消防学校長の式辞が述べられ、来賓として千葉県知事（代理 添谷防災危機管理部長）、千葉県消防協会長（代理 芝岸副会長）千葉県消防長会長（代理 澤本副会長）からの祝辞がなされました。

続いて、入校生代表（市川市消防局 猪狩大地君）からの宣誓が行われ、研修に励んで一人前の消防職員になる旨の誓いが述べられました。



入校生宣誓（市川市消防局 猪狩大地君）



大石学校長の式辞



千葉県知事（代理 添谷防災危機管理部長）の祝辞



消防協会長（代理 芝岸副会長）の祝辞



消防長会長（代理 澤本副会長）の祝辞

第42回全国消防殉職者慰霊祭

令和5年9月14日(木)、「第42回全国消防殉職者慰霊祭」が日本消防会館ニッショーホールで殉職者遺族、各県の消防協会関係者等の出席により執り行われました。

昭和23年の自治体消防発足以来、旺盛な郷土愛護と崇高な消防精神に燃え、全国の消防団員による地域に根ざした防災活動の展開のなかで、残念なことに毎年消防殉職者が発生しており、その御霊は新たに合祀した3柱を加えて5,787柱を数えております。

式では秋本敏文日本消防協会長の式辞、岸田内閣総理大臣、鈴木総務大臣及び遺族代表の追悼のことは、参列者の皆様の献花が行われた後、鎮魂の歌(木遣り)が捧げられました。

千葉県からは御遺族の方2名と千葉県消防協会専務理事及び市職員3名が参加しました。



秋本日本消防協会長の式辞



岸田内閣総理大臣の追悼のことは



御遺族の献花



慰霊碑

わが町の消防団 匝瑳市消防団

匝瑳市は、千葉県の北東部に位置し、市の中心部をJR総武本線と国道126号が東西に走り、成田方面とは国道296号で結ばれています。

市の総面積は、101.48平方キロメートルです。北部は、谷津田が入り組んだ複雑な地形の台地部となっており、里山の自然が多く残されています。南部は、平坦地で市街地を除いてほとんどが田園地帯となっており、九十九里海岸に面しています。

匝瑳市消防団は、団本部・12分団40ヶ部で組織し、消防団員631名（令和5年11月1日現在）、指令車1台・消防ポンプ自動車10台（うち水槽付3台）・小型動力ポンプ付積載車30台（うち水槽付12台）の消防車両を有し、秋山消防団長の指揮の下、約3万4千人の市民の生命・財産を守っています。

5月には市消防操法大会を開催し、匝瑳市横芝光町消防組合消防署員の指導の下に行われる、訓練の成果を披露しています。市大会におけるポンプ車及び小型ポンプ操法の部上位2部隊が、千葉県消防協会海匝支部消防操法大会に出場し、千葉県消防操法大会への出場を目標に訓練を重ねることになります。今年



の海匝大会では、ポンプ車及び小型ポンプ操法の両部において、最優秀賞を受賞し、2部隊が県大会に出場しました。県大会では、ポンプ車操法の部において見事最優秀賞を受賞し、念願の優勝旗を匝瑳市に持ち帰ることができました。

9月の台風13号によりもたらされた大雨では、市内各地で冠水箇所が発生する中、排水活動を行い、火災発生時には消火活動を行い、「自分たちのまちは、自分たちで守る」ため、市内で災害が発生すれば昼夜を問わず対応にあたっております。

本市では、令和3年に学生消防団活動認証制度を、令和4年には、消防団サポート店制度導入し、消防団活動の活性化を図ってきました。全国的に、団員の確保が困難になってきている状況ですが、今後もより一層の活性化を図り、市民の生命と財産を守るため活動していきます。



東 西 南 北

東 西 南 北 3機関合同テロ対策訓練を実施 銚子市消防本部

銚子市消防本部では、令和5年4月25日(火)、JR銚子駅構内の列車で消防・警察・JRの3機関による合同テロ対策訓練を実施しました。

本訓練はJR銚子駅の御協力を頂き、定期運行中の列車が駅停車中に発生したブラインド型の実動訓練として、列車内及び駅構内での無差別殺傷事件が発生した際、各関係機関の連携活動の確認をし強固にする目的で、初動対応・避難誘導・救助救護活動などを実施しました。今回訓練を実施し、活動内容の改善点などが確認できたことにより、さらなる連携の強化を図ることの重要性を再認識できた訓練となりました。



東 西 南 北 新規採用職員が消防訓練センターにおいて訓練成果を披露！ ～新人消防士達の門出～

船橋市消防局

船橋市消防局では、令和5年4月1日付けにて採用した消防士18人が消防局長の前で訓練成果を発表する「消防局長査閲」を4月28日(金)、船橋市消防訓練センターにて実施しました。

現場活動に必要な知識、技術及び体力を習得するため、1か月にわたり厳しい訓練を受け、その集大成として、身につけた厳正な規律、部隊行動、そして消防技術を一丸となって披露しました。

新規採用職員は、この研修を終え、ようやくスタートラインに立つこととなります。

船橋市消防局職員一同、彼らとともに今後も更なる技術の向上に努め、船橋市民のため日々邁進してまいります。



東 西 南 北 心肺停止からの蘇生！人命救助者に対し感謝状を贈呈 習志野市消防本部

当消防本部では、令和5年5月22日(月)に心肺停止傷病者を救った消防協力者に対し、感謝状贈呈式を行いました。

この事案では、令和5年2月21日(火)習志野市内の駅構内で、心肺停止状態となった傷病者に対し、3名の方が、迅速な119番通報と心肺蘇生およびAEDの使用を連携して実施したことにより、救急隊到着時には心拍が再開し無事社会復帰へと繋がりました。

この功績をたたえ、消防長より感謝状を贈呈したものです。



東 西 北 南 北 「解体施設を使用した救助技術訓練」を行いました。 ～船橋市消防局救助隊が大規模震災に備えて訓練を実施～

船橋市消防局

令和5年5月31日(水)～6月2日(金)までの3日間、ららぽーとTOKYO-BAY北館(船橋市浜町2-1-1)において、「解体施設を使用した救助技術訓練」を実施しました。

この訓練は、大規模震災時における座屈建物(パンケーキクラッシュ等)の内部に取り残された要救助者の救出を想定して、実際に解体している商業施設の一部を借用し、コンクリート及び鉄扉等を破壊しました。

実際の建物を使用することで、救助隊員の進入が可能となるまでにかかる時間や、閉鎖空間での環境管理の要領など、実戦に近い緊張感で訓練することができました。

今後も、いつ起こるかわからない大規模な災害に備え、訓練を重ね、更なる技術の向上に努めてまいります。



東 西 北 南 北 火災予防技術研究に関する産学官協定を締結 習志野市消防本部

習志野市は、令和5年6月7日(水)、県内で初めて、東京電力パワーグリッド株式会社(以下、東電PG)、静岡大学、長岡技術科学大学と、「宅内IoT機器を活用した電気火災予兆検知技術の研究」を共同実施する協定を締結しました。

この研究は、総務省消防庁の「令和5年度消防防災科学技術研究推進制度」に東電PGが研究代表機関として応募し採択を受けたもので、電気火災の一因とされる「トラッキング」を対象とした電気火災予兆検知技術の実用化を目指します。

当消防本部は電気火災予防についての助言や習志野市をフィールドにモニター募集に関する支援をしてまいります。



東 西 北 南 北 令和5年度火災原因調査研修会を開催 佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合では、令和5年6月16日(金)、消防本部において近隣消防本部を含む84名の火災原因調査に携わる職員を対象に、「火災原因調査研修会」を開催しました。

講師には、消防大学校消防研究センター火災災害調査部原因調査室塚目孝裕室長をお招きし、「訴訟に向けた見分調書の書き方 警察機関との連携」についてご講義いただきました。

この研修会では、警察機関が実施する火災原因調査の目的や着眼点を理解し、また、近年増加傾向にある裁判所への証人出廷について、消防職員が出廷した事例を踏まえ、裁判所から求められる調査書の書き方や証言の方法を学びました。今後も職員に対する教育研修を実施し人材育成に努めて参ります。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和5年11月

2日 第59回消防殉職者慰霊祭(千葉県消防学校)

16日 第28回全国女性消防団員活性化石川大会(金沢市)

25・26日 消防団員指導員研修(千葉県消防学校)



2023年度 全国統一防火標語
「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和5年秋季全国火災予防運動

11月9日(木)から11月15日(水)までの7日間

- 【重点目標】**
- ①住宅防火対策の推進
 - ②乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
 - ③放火火災防止対策の推進
 - ④特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - ⑤製品火災の発生防止に向けた取組の推進
 - ⑥多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

<表紙の説明>

原岡栈橋（岡本栈橋）（南房総市）安房支部

原岡栈橋は南房総市富浦町原岡地区にある木製の栈橋です。雄大な富士山を望むことができ、コマーシャルやドラマの撮影に数多く起用される人気スポットです。

写真映えすることで、写真愛好家の間でも人気があり、特に夏には「ダイヤモンド富士」を撮影するために多くの愛好家が訪れます。また、夜になると栈橋の街灯に明かりが付き、昼とは違った映画のワンシーンのようなノスタルジックな雰囲気を感じることができます。

